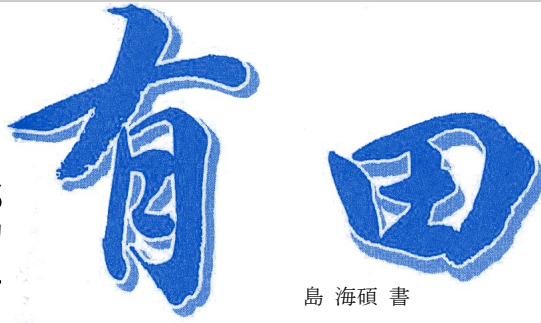


No. 3072

2023-2024年度

会 長 川口健太郎
幹 事 木本 隆昭
広報小委員長 井上 修平



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2023-2024年度クラブ方針

「希望は私たちの原動力！」
～地域に明るい活力を広げよう！～



本日のプログラム

令和6年4月18日 第3073回

- ・ 会員卓話：中村吉伸君・宮井清明君
- 65周年企画「ロータリーと私」
- ・ ソング「我等の生業」

次回のお知らせ

令和6年4月25日 第3074回

- ・ 外部卓話：岡本良太氏
- ((株)総本家 駿河屋 代表取締役)
- ・ ソング「それでこそロータリー」

前回の報告 (第3072回例会)

開催日 令和6年4月4日(木)

点 鐘 [川口会長]

ゲスト・ピジターの紹介

[親睦活動小委員会 井上委員]

ゲスト: 榎本 亜澄香様

(日本赤十字和歌山医療センター 薬剤部
治験管理課 治験管理係長)

ピジター: 山本正晃君(有田南ロータリークラブ)

今月の誕生・結婚祝

[親睦活動小委員会 井上委員]

会員誕生: 児嶋正人君(4/16)、嶋田恵君(4/16)、
橋爪誠治君(4/19)

配偶者誕生: 木本真理さん(4/23)

結婚記念: 應地正章君(4/20)



4月お誕生日
橋爪誠治君(右)

おめでとう
ございます!

ニコニコ箱の報告 [橋爪(誠)SAA]

川口君: 日赤和歌山医療センター 榎本様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。勉強させて頂きます。

木本君: 日本赤十字和歌山医療センター 榎本亜澄香様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。

山下正晃君(有田南RC): 有田RCに久しぶりに来させて頂きました。よろしくお願ひ致します。

岩橋君: 榎本亜澄香様、卓話よろしくお願ひします。

上野山(捷)君: 榎本亜澄香様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。卓話よろしくお願ひいたします。

橋爪(正)君: 榎本亜澄香様、卓話よろしくお願ひします。有田南ロータリークラブの山下さん、ようこそお越し下さいました。

中村君: 榎本様、ようこそ有田RCへ。卓話楽しみにしています。

宮井君: 榎本亜澄香様、ようこそお出で下さいました。ありがとうございます。本日の卓話よろしくお願ひします。

岩本君: 榎本様、本日は御苦勞様です。卓話楽しみにしています。

松村君: 入会后、ほぼ休まずに来ておりました。SAAという要職にありながら数回来る事ができませんでした。次の例会は欠席しますが、その後は休まず出席します。

中元君: 榎本亜澄香様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。

井上君: 榎本様、本日の卓話よろしくお願ひします。

菅原君: 榎本様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話楽しみです。

山下君: 春の人事異動で本部に移動になりました。短い期間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございます。

橋爪(誠)君: 榎本様、ようこそ有田RCへ。実家に新しい家族ができました。トイプードル(女の子)のポポちゃんと申します。よろしくね!

出席報告

[例会運営小委員会 上野山(捷)委員]

会員数25名

(出席規定免除会員9名)

出席会員16名
(出席規定免除会員7名)

会長の時間 [川口会長]

「先延ばし癖」

皆さんこんにちは。本日も例会にご参加頂きました会員の皆さま、ありがとうございます。また本日は日赤和歌山医療センターより榎本様ようこそ有田RCへ、後ほど卓話を宜しくお願い致します。



本日のテーマとしましては「先延ばし癖」のお話しをさせていただきます。この4月よりスタートしました働き方改革関連法案にともない運送業・建設業・医師の職業に残業上限規制が設けられました。これまでは製造業等が対象でしたが、今回の業種は猶予期間を経て施行が実施されました。私は建設業を営んでおり、この対応に試行錯誤しました。その理由はこれまで工期を如何に短くし経費を削減して利益を残すか、厳しい競争入札と言う名の価格勝負が当たり前でした。また現場勤務と内勤者との格差も年を追うごとに大きくなり、この格差解消もネックでありました。しかしながら今回の法案施行により、弊社は週休2日制の導入に踏切りました。これまでの私の教えられて来たことや経験則では考えられない対応が始まります。よく父からは日本は資源が無い国土だから人の働きで支えてきて、週休2日や連休などは身体がなまってしまうと、ほんの数年前までよく聞かされた話でした。それはその通りだと感じる事も多々ありながらも、対応策を講じてIT機器の導入や時間の管理の詳細化などを行って来ましたが労働時間は短縮出来ていません。これは無理だろうと諦めかけた時に、自分自身の行動はどうであるかが今回の話のテーマでもある先延ばし癖がある事、これは実は時間を大きく食っている事に気付き、迷いや面倒くさは自分が創っていることで、その改善は毎日の右か左かの判断を早くする訓練にあり、「まあええか」からやるやらないを決めると事が早く済むと思いき先ずは私自身から訓練です。これもRC会長の役柄から見えて来た事です。

幹事報告 [木本幹事]

- 1.4月のロータリーレートは1ドル151円です。
- 2.地区より
 - ・新旧合同「クラブ社会奉仕委員長会議」の案内が届いています。
本年度及び次年度奉仕プロジェクト委員長 橋爪誠治君にお渡ししています。
 - ・職業奉仕事業－関西国際空港 見学会のご案内が届いています。
奉仕プロジェクト委員会 職業・国際奉仕担当 福原陽司君にお渡ししています。
- 3.日本ライトハウスより、「リフレッシュ募金のお願い」が届いています。
後方の掲示板にて閲覧願います。
- 4.本日13:45分より5階経済クラブにて第10回定例理事役員会を開催します。
理事役員の皆様、宜しくお願いいたします。

5.各クラブの例会変更は後方の掲示板にて閲覧願います。

卓話



日本赤十字社和歌山医療センター 薬剤部
治験管理課 治験管理係長
榎本 亜澄香 氏

「国際救援スタッフの現地での生活」

令和6年能登半島地震ならびに台湾東部沖地震で被災された方々、およびご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

【自己紹介】

兵庫県神戸市生まれ。1歳～6歳までブラジル・サンパウロで過ごす。一般企業を経て、2011年4月より日本赤十字社和歌山医療センター(以下、当センター)にて勤務。

【赤十字マークの使い方について】

赤十字マークの使用については、国際的な取り決め(ジュネーブ条約)で厳密に定められている。本邦で使用が許可されているのは、①日本赤十字社の関連施設②自衛隊の衛生部隊の2つのみ。それ以外においては、各都道府県の赤十字支部の許可なく使用することは出来ない。

【演者の国際医療救援の経験について】

今まで4カ国(ネパール、バングラデシュ、ハイチ、シリア)に派遣された。また、コロナ蔓延初期に「ダイヤモンドプリンセス号」にて医療活動を行った。

【国際医療救援での生活について】

「海外でどのような医療活動を行っているか」については、報道等で詳細な情報が得られるが、「派遣者が現地でのどのような生活をしているか(住居、食事、トイレ、シャワー、洗濯など)」については、普段あまり知られることはない。住居は、原則として「テント暮らし」か「ホテル暮らし」の2択だが、食事は「現地で調理スタッフを雇う」「市場などで購入する」「日本から持参した非常食を使用する」「近隣の現地レストランに行く」など、状況によってはいくつかの選択肢が存在する。様々な制限がある中で、自身の健康を損ねないように留意しながら、活動場所に応じた生活を行っている。

この度は、このような身に余る貴重な機会を頂きまして、誠にありがとうございました。皆さまの益々のご健勝をお祈り申し上げます。

閉会・点鐘

[川口会長]